

令和5年3月1日

当初予算説明

3月定例会議

常総市



新型コロナウイルス感染症の発生から3年が経過し、徐々に社会経済活動の正常化が進みつつある中、景気は緩やかな持ち直しが続いている一方で、原油価格・物価高騰等の影響による光熱水費や資材の高騰など、当市を取り巻く環境は依然として厳しさがあります。今後も国・県、近隣自治体及び議会の皆さまとも連携し、ご協力をいただきながら地域支援策を切れ目なく努めていきたいと考えておりますのでよろしくお願い申し上げます。

本日、ここに令和5年度予算を提出するにあたりまして、予算編成の基本的な考え方及び重点施策等についてご説明申し上げます。

今回、令和5年度予算につきましては、市長に就任後7回目の当初予算編成となります。限られた財源の中で、未来に誇れる常総市をつくるため、じょうそう未来創生プラン、まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げた事業に重点的に取り組むとともに、国の経済対策やAIデジタル及びカーボンニュートラルなどの動向を注視し、新たな国・県支出金の確保や市税増収につながる施策を図ることで自主財源の確保をさらに推進していきたいと考え、予算編成を行いました。

まず、現在の常総市の財政状況からご説明申し上げます。

歳入面においては、一部企業の業績が好調なことや工場や倉庫等の新規立地、また同施設等への設備投資による償却資産の増加などにより、増収の見込みとなっております。普通交付税につきましては、市税等の増収と臨時財政対策債の減などを勘案し、ほぼ横ばいを見込んでおります。

歳出面においては、公共施設、インフラの更新整備など、従前からの課題に加え、デジタル社会、脱炭素社会の実現に向けた施策の展開、さらに義務的経費として原油価格・物価高騰等の影響による光熱水費や資材の高騰、高齢化の進行等による社会保障費などは増加傾向にあるため、事業の見直しや基金繰入により収支の均衡を図った状況であります。

このため、事業の緊急度・優先度を見極めた各部長主導の予算要求とし、時代の変化に柔軟に対応しながら、市の発展をより加速させるための予算措置を行ったところです。

主な重点施策としましては、AIまちづくりを推進するための事業やカーボンニュートラルを推進するための経費、コミュニティバス運行事業、きぬふれあいセンター大規模改修事業や内守谷公民館建設事業などの予算を盛り込んだところです。

以上が予算編成及び重点施策の概要であります。

次に、令和5年度の予算規模であります。一般会計で2百41億1千5百万円、6つの特別会計で百91億7千6百95万3千円となり、合わせますと4百32億9千95万3千円になるものです。

以下、会計ごとにご説明申し上げます。

まず、議案第66号 令和5年度常総市一般会計予算についてご説明申し上げます。

歳入歳出予算の総額は、2百41億1千5百万円で、前年度当初予算と比較しますと2億5千8百万円、1.1パーセントの減になるものです。

まず歳入ですが、市民税につきましては、一部企業の業績が好調なこと、また、固定資産税につきましては工場や倉庫等の新規立地、同施設等への設備投資による償却資産の増加などを踏まえ、市税全体で前年度から3億8千8百86万2千円増の96億9千5百65万2千円を計上しております。

地方交付税につきましては、普通交付税36億円、特別交付税3億5千万円、合わせて39億5千万円を計上いたしました。

国庫支出金につきましては、障がい者自立支援給付費負担金、子どものための教育・保育給付費負担金、生活保護扶助費負担金、移住定住や新たな事業の創業などの受け皿として空き家を活用する基盤構築などの事業に対するデジタル田園都市国家構想推進交付金、道路や橋りょうの整備に対する防災・安全交付金などでございます。

県支出金につきましては、障がい者自立支援給付費負担金、子どものための教育・保育給付費負担金、隣保館等施設整備費補助金、結婚新生活支援事業費補助金などでございます。

市債につきましては、道路新設改良事業債1億2千6百10万円、公民館整備事業債1億3千5百60万円や臨時財政対策債1億9千万円など、総額で8億5千5百50万円を計上いたしました。

その他の歳入につきましても、関係法令の基準や過去における収入状況などを十分に検証しまして、それぞれ計上いたしました。

次に、歳出についてご説明申し上げます。

初めに、人件費につきましては、一般職給468人分を見込んだ上で、特別職の給料及び部課長等の管理職手当を引き続き10パーセント減額した経費を計上いたしました。

続いて、款別の主なものをご説明申し上げます。

まず、議会費につきましては、議員報酬、議員共済会負担金に係る経費などの計上でございます。

総務費につきましては、カーボンニュートラルの推進と非常時に避難所への電源供給を可能とする電気自動車の導入、AIや自動運転などの先進技術の知見を活用した常総市らしい施策を事業化するAIまちづくり推進経費のほか、市議会議員選挙費などを計上いたしました。

民生費につきましては、障がい者の自立支援給付費、高齢者見守り連携事業やきぬふれあいセンター大規模改修等工事費などを計上いたしました。

衛生費につきましては、新型コロナウイルスワクチン接種などの予防接種費用や市民・事業者におけるカーボンニュートラルに係る知識の普及や行動の実践を促進し、ゼロカーボンシティに向けた取組を推進するための事業費などを盛り込んだところでございます。

農林水産業費につきましては、農業分野でのカーボンニュートラル実現を目指すための営農活動に対して支援する環境保全型農業直接支払交付金などを計上いたしました。

商工費につきましては、企業立地及び雇用の拡大を図るために企業立地奨励金や雇用拡大奨励金などを計上いたしました。

土木費につきましては、幹線道路及び生活道路の改良工事費、橋りょうの維持事業費、道の駅に太陽光発電設備を設置する経費、若年夫婦世帯の定住及び移住の促進を図るために結婚新生活を支援する補助金やコミュニティバス運行事業、また、サイクリングロード等における矢羽根表示や案内看板の設置を行い、地域外からの来訪者を街なかに回遊させるための経費などを計上いたしました。

消防費につきましては、要支援者に対する個別避難計画を作成する経費や児童に対して災害時の自助・共助など、もしもの時に行動できるような人材を育てる

防災スポーツ事業費などを計上いたしました。

教育費につきましては、小学校高学年を対象にした環境教育事業費、外国籍の保護者が学校からのお知らせ等を希望する言語で受けとることができる多言語対応メール送信システム経費、来年度から統合する菅原小学校へのスクールバスの運行業務委託料や内守谷公民館建設事業費などを計上いたしました。

以上が今回ご提案いたしました令和5年度一般会計の概要であります。詳細につきましては、委員会におきましてご説明申し上げますので、十分ご検討の上、適切な議決を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

続きまして、特別会計予算につきましてご説明申し上げます。

まず、議案第67号 令和5年度常総市国民健康保険特別会計予算についてご説明申し上げます。

歳入歳出予算の総額は、66億6千4百67万円でございます。

歳入につきましては、被保険者14,751人分の国民健康保険税のほか、県支出金、一般会計繰入金などがございます。

歳出につきましては、療養給付費や高額療養費のほか、国民健康保険事業費納付金などを見込み、必要額を計上しております。

次に、議案第68号 令和5年度常総市後期高齢者医療特別会計予算についてご説明申し上げます。

歳入歳出予算の総額は、15億1千12万9千円でございます。

歳入につきましては、被保険者9,853人分の保険料のほか一般会計繰入金などがございます。歳出につきましては、広域連合納付金、特定健診の費用などを計上しております。

次に、議案第69号 令和5年度常総市介護保険特別会計予算についてご説明申し上げます。

歳入歳出予算の総額は、53億9千8百62万6千円でございます。

歳入につきましては、第1号被保険者18,622人分の保険料のほか、介護保険法に定められた負担割合に応じ、国庫支出金、支払基金交付金、県支出金及

び低所得者保険料軽減分を含めた一般会計繰入金などをそれぞれ計上いたしました。

歳出につきましては、人件費のほか、要介護認定者が受ける介護サービス給付などの保険給付費が主なものでございます。

次に、議案第70号 令和5年度常総市介護サービス事業特別会計予算についてご説明申し上げます。

歳入歳出予算の総額は、1千9百34万2千円でございます。

歳入につきましては、介護予防サービス計画作成報酬が主なもので、歳出につきましては、計画作成の一部を委託するための経費などを計上いたしました。

次に、議案第71号 令和5年度常総市水道事業会計予算についてご説明申し上げます。

まず、収益的予算であります。収入につきましては、水道料金、新規加入分負担金、消火栓負担金など16億8百16万3千円を計上いたしました。

支出につきましては、人件費のほか、受水費、減価償却費などを合わせて15億2千6百95万1千円でございます。

次に、資本的予算であります。収入につきましては、企業債など4億1千50万8千円を計上しております。支出につきましては、国道294号立体交差に伴う配水管布設替工事費のほか、重要給水施設配水管布設工事費などを合わせて7億8千4百10万4千円を計上いたしました。

なお、資本的予算で財源不足となる3億7千2百59万6千円につきましては、消費税資本的収支調整額及び損益勘定留保資金で補填するものです。

次に、議案第72号 令和5年度常総市下水道事業会計予算についてご説明申し上げます。

まず、収益的予算であります。収入につきましては、使用料、一般会計補助金など、支出につきましては、人件費のほか、処理場維持管理委託料、減価償却費など14億6千3百79万1千円を計上いたしました。

次に、資本的予算であります。収入につきましては、企業債、一般会計出資金、国庫補助金などを合わせて14億6千2百98万7千円を計上しております。

支出につきましては、豊岡、本石下地区の面整備工事費のほか、新石下地区の下水路整備などを合わせて18億8百34万円を計上いたしました。

なお、資本的予算で財源不足となる3億4千5百35万3千円につきましては、消費税資本的収支調整額及び損益勘定留保資金などで補填するものです。

以上が今回ご提案申し上げました特別会計予算の概要であります。

なお、詳細につきましては、委員会におきましてご説明申し上げますので、十分ご検討の上、適切な議決を賜りますようお願い申し上げます。